

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報

第8号（平成29年度）

Annual Report of the Tokushima Prefectural Torii Ryuzo Memorial Museum
No. 8 (for the fiscal year of 2017)

目 次

I 展覧事業	2	V 管理運営	15
1. 常設展		1. 組織・職員	
2. 企画展		2. 防災及び危機管理	
3. その他の展示		3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会	
4. 展示関係出版物		4. 視察等来訪者	
II 調査研究事業	8	VI 観覧者統計	17
1. 平成29年度の調査概要		VII 施設の概要	19
2. 研究成果の公表		1. 沿革	
III 資料収集保存事業	9	2. 施設の概要	
1. 館蔵資料数		VIII 例規	20
2. 写真・映像等の提供			
3. 資料閲覧			
4. 資料整理ボランティア			
5. 資料の保存			
IV 普及教育事業	11		
1. 普及行事			
2. 学校教育の支援			
3. 講師の派遣			
4. インターネットによる情報発信			
5. 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム の開催			
6. 普及教育関係出版物			

I 展覧事業

鳥居龍蔵記念博物館の展示は、常設展と企画展、その他の展示からなる。

常設展は、鳥居龍蔵の生涯と研究業績を分かりやすく学ぶことができるよう3つの展示室で構成している。

東アジア各地における龍蔵の調査ルートをLEDランプで示す床地図、遼王朝の陵墓の復元模型とともに、収集した資料や写真を通して龍蔵の足跡が学べる展示内容としている。土器パズルや民族衣装などの体験学習キット、映像資料が検索・閲覧できるパソコンや、随時展示替える「トピックコーナー」も設置している。

常設展以外に、期間を限定して、特定のテーマに即して開催する企画展等がある。平成29年度は、企画展を1回開催した。

1. 常設展

(1) 展示構成

■第1展示室 鳥居龍蔵の見たアジア

鳥居龍蔵のアジア調査の成果について、地域別に概観できるよう構成している。龍蔵が撮影した写真、龍蔵が採集した民族・考古資料を幅広く紹介している。

1. 台湾・中国西南部
2. 中国東北部・内モンゴル
3. 遼
4. 朝鮮半島
5. 千島列島・サハリン・シベリア
6. 日本列島

■第2展示室 鳥居龍蔵の生涯

人類学を志した徳島での少年時代から、やがて東京に移ってからの研究、家族とともに携わった調査など、生涯にわたる足跡や多彩な交流の様子を紹介している。

1. 人類学への志
2. 家族とともに
3. 南アメリカ

■第3展示室 鳥居龍蔵から学ぶもの

検索機能を備えたパソコンを設置したり書籍を配架したりして、鳥居龍蔵の学問的な成果が学べるとともに、子どもも楽しめる体験学習キットを用意している。

1. 情報コーナー（パソコンを使った鳥居龍蔵撮影の写真の検索・閲覧や番組型コンテンツの提供）

2. 体験展示（土器パズル、カメラ体験、民族衣装の試着など）

3. 図書コーナー（鳥居龍蔵の著作などの閲覧用提供）

(2) トピックコーナーの展示替え

平成24年度より、第2展示室内の一部をトピックコーナーとし、整理の進んだ資料を中心に随時展示替えを行っている。29年度の実績は次のとおりである。

●文化財保護の黎明と鳥居龍蔵

平成28年度〔11月8日（火）〕～4月2日（日）

展示資料点数8点（館蔵資料8点）

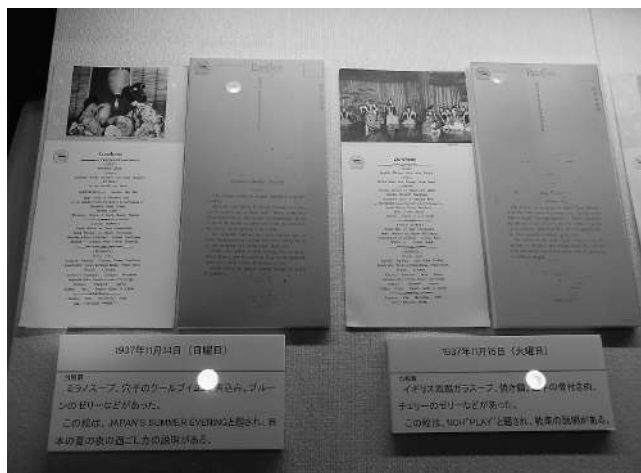
1923年、徳島市の勢見山山麓にある「岩の鼻」の遺跡に関して、鳥居龍蔵と地元の協力者である森敬介、前田正一の間で交わされた書簡等を中心に、当時の遺跡保存運動について紹介した。

●鳥居龍蔵の船上ランチ—日本郵船株式会社「楽洋丸」のメニュー—

4月4日（火）～7月30日（日）

展示資料点数 7点（館蔵資料7点）

1937年に南アメリカ調査を終えた鳥居龍蔵は、日本郵船株式会社の楽洋丸に乗船し、ペルーからアメリカ合衆国のロサンゼルスに移動した。楽洋丸でのランチメニューを通じて、鳥居の旅の一端を紹介した。



「鳥居龍蔵の船上ランチ」の展示風景

- 祝 徳島県立図書館100周年 100年前の鳥居龍蔵
—近畿地方の「石器時代」を探る—
8月1日（火）～12月3日（日）
展示資料点数 4点（館蔵資料4点）
県立図書館の開館100周年にあわせ、今から100年前の1917年に、鳥居龍蔵が大阪毎日新聞社社長の本山彦一等とともに行った近畿地方の遺跡調査を紹介した。
- 鳥居龍蔵、南方を探る—日本人の起源を求めて—
12月5日（火）～平成30年度〔4月1日（日）〕
展示資料点数 7点（館蔵資料7点）
鳥居龍蔵の「固有日本人」論においては、南方諸民族の日本民族形成への影響を指摘しているが、彼の現地調査は台湾が南限である。鳥居が南方の情報をいかにして得たのか紹介した。



「鳥居龍蔵、南方を探る」の展示風景

2. 企画展

(1) 企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—本山彦一等との交流—」

1917（大正6）年、鳥居龍蔵は大阪毎日新聞社社長の本山彦一等とともに、近畿地方で考古学的な調査を行った。その成果は、鳥居の主著である『有史以前の日本』のもととなり、その学説の中心をなす「固有日本人」論の形成に大きな影響を与えた。

この企画展では、鳥居のライフワークの一つである日本人の起源に関する研究を取り上げ、これを支援した人物として本山彦一等に焦点をあてた。彼の果たした役割について考えるとともに、鳥居と本山の交流を多角的に紹介し、活動の実態に迫った。

- 主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館
 - 会場 徳島県立博物館企画展示室
 - 会期 平成30年2月10日（土）～3月18日（日）
（開館日数32日）
 - 展示構成とおもな展示資料
- 序章 本山彦一大人に、謹んで此の拙き一書を捧ぐ
・有史以前乃日本 初版 当館蔵
- 第1章 本山の生い立ちと、鳥居との邂逅
・本山彦一肖像画 個人蔵
・本山彦一と大隈重信の記念写真 関西大学博物館蔵
- 第2章 地方史蹟闡明の一端に資さんとす 近畿調査
- (1) 近畿調査の概要と意義
 - ・大和石器時代遺跡調査行程表 当館蔵
 - ・近畿調査時のメモ 当館蔵
 - (2) 大正6年の近畿調査を追う
 - ・近畿調査写真 四ツ池遺跡全景 当館蔵
 - ・近畿調査写真 カハラ畑遺跡を調査する鳥居 当館蔵
 - ・近畿調査写真 茶の木遺跡の発掘調査風景 当館蔵
 - ・国府遺跡人骨の出土状況断面図 当館蔵
 - (3) 近畿調査を終えて
 - ・9月26日付本山彦一書簡 当館蔵
 - ・9月29日付本山彦一書簡 当館蔵
 - (4) 鳥居は近畿調査で何を確信したのか
 - (5) 近畿調査その後 鳥居龍蔵から現代まで
 - ①四ツ池遺跡
 - ・弥生土器 壺（前期） 堺市教育委員会蔵
 - ・弥生土器 甕（前期） 堺市教育委員会蔵
 - ・蛸壺（イイダコ用） 堺市教育委員会蔵
 - ②唐古・鍵遺跡
 - ・弥生土器 II様式 壺 京都大学総合博物館蔵
 - ・弥生土器 IV様式 甕 京都大学総合博物館蔵
 - ・石包丁 京都大学総合博物館蔵
 - ③鳴神貝塚
 - ・4号人骨 和歌山市教育委員会蔵
 - ・猿轆骨耳飾（レプリカ） 和歌山県教育委員会蔵
 - ・骨角器（ヘラ状骨器） 和歌山県立博物館蔵
 - ④国府遺跡
 - ・第3地点出土 横長・縦長薄片接合資料 大阪府教育委員会蔵
 - ・第3地点出土 石器 大阪府教育委員会蔵

4 展覧事業

- ・円筒埴輪 大阪府教育委員会蔵
- ・土馬 大阪府教育委員会蔵

関西大学博物館蔵

- ・大串第18号人骨球状耳飾（レプリカ）

関西大学博物館蔵

第3章 日本人の起源に迫る「固有日本人」論の展開

- (1) 鳥居は、日本人の起源をどのように考えたのか？
 - ・有史以前乃日本 初版 当館蔵
- (2) 日本人起源論の最前線と鳥居学説
- (3) ルーツを求めて

①大陸へのまなざし

- ・本山彦一から鳥居龍蔵への書簡 当館蔵
- ・写真帳 当館蔵

②北方へのまなざし

- ・千島アイヌ 1903年刊 当館蔵
- ・竪穴住居跡の平面模式図とスケッチ 当館蔵

③南方へのまなざし

- ・第1回台湾調査フィールドノート 当館蔵
- ・銅鐸関係メモ 当館蔵

④世界の「人種・民族」へのまなざし

- ・人種地図 東半球之図 個人蔵
- ・世界人種画像 関西大学博物館蔵

第4章 北海の島国に有史以前を探る 佐渡調査

- ・小佐渡先住民遺跡遺物視察案内 当館蔵

第5章 郷里の遺跡に石器時代を問う 城山貝塚発掘調査

- ・国津神時代ニ於ケル徳島城山遺跡地 当館蔵
- ・城山貝塚の写真 当館蔵

第6章 龍蔵と彦一 その交流の断片

- (1) 「万年永宝」、戦禍に耐える
 - ・「万年永宝」の額 当館蔵
 - ・鳥居龍蔵書簡（本山彦一宛）徳島県立博物館蔵
- (2) 輿に乗り、大洲を訪う
 - ①鳥居龍蔵の大洲調査
 - ・紅葉山のスケッチ 当館蔵
 - ②本山彦一の大洲訪問
 - ③訪問の後に
 - ・本山幸書簡（鳥居きみ子宛） 当館蔵

第7章 死してなお、鳥居を援助する

- ・鳥居の建設大臣官邸への入居を伝える新聞記事 当館蔵

終章 時空を超える 本山コレクションの輝き

- ・大串第4号人骨球状耳飾 関西大学博物館蔵
- ・大串第13号人骨球状耳飾と丸玉（レプリカ）

- ・壺形土器口縁部破片 関西大学博物館蔵

●展示資料総点数 264点（館蔵資料74点）

●観覧料

一般200円（65歳以上100円）、高校・大学生100円、小・中学生50円

●観覧者数 1,746人

●関連行事

①記念講演会

日時 3月4日（日）午後1時30分～3時
 会場 文化の森イベントホール
 講師 海部陽介氏（国立科学博物館）
 演題 「日本人はどこから来たのか？」
 参加者 160人



記念講演会

②展示解説

第1回：日時 2月11日（日・祝）
 午後2時～3時
 参加者 32人
 第2回：日時 2月25日（日）
 午後2時～3時
 参加者 22人
 第3回：日時 3月4日（日）
 午後3時～4時
 参加者 41人
 第4回：日時 3月11日（日）
 午後2時～3時
 参加者 12人
 第5回：日時 3月18日（日）
 午後2時～3時
 参加者 18人



平成29年度
企画展
鳥居龍蔵

鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る

— 本山彦一との交流 —



ずらり!
重要文化財、12点








平成30年
2月10日[土]~3月18日[日] 【会場】徳島県立博物館 企画展示室

【観覧時間】9:30~17:30 【休館日】日曜日、祝日、2月12日(祝)、2月13日(休館)、2月14日(休館) 【観覧料】一般 200円、高校生 100円、小・中学生 50円
65歳以上の高齢者は半額、75歳以上の高齢者は無料、学生は半額、障がい者同伴の場合は無料、身体障害者同伴の場合は有料(要予約) 上記は原則として10名以内
障がい者同伴の場合は、事前申込みが必要となります。
【主催】徳島県立鳥居龍蔵記念博物館・徳島県立博物館

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向香山(文化の森総合公園)
tel 088-668-2344 fax 088-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-cs.ed.jp



鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る

— 本山彦一との交流 —

大正6年、鳥居龍蔵は本山彦一等とともに近畿地方で考古学の調査を行いました。その成果は、鳥居の著書である『有史以前の日本のもと』となり、その学説の中心をなす「固有日本人」論の形成に大きな影響を与えました。

今回の企画展では、鳥居のライフワークの一つである日本人起源論を取り上げ、これを支えた人物として本山彦一に焦点をあて、その果たした役割について考え、活動の実態に迫ります。

【展示構成】

序章 「本山彦一大人に、謹んで此の拙き一書を捧ぐ」

一章 本山の生い立ちと、鳥居との邂逅

二章 「地方史蹟開明の一端に資さんとす」 近畿調査

三章 日本人の起源に迫る 「固有日本人」論の展開

四章 北海の島国に有史以前を探る 佐渡調査

五章 郷里の遺跡に石器時代を問う 城山貝塚発掘調査

六章 龍蔵と彦一 その交流の断片


七章 死して鳥居を援助する

終章 時空を超える 本山コレクションの輝き

【関連行事】

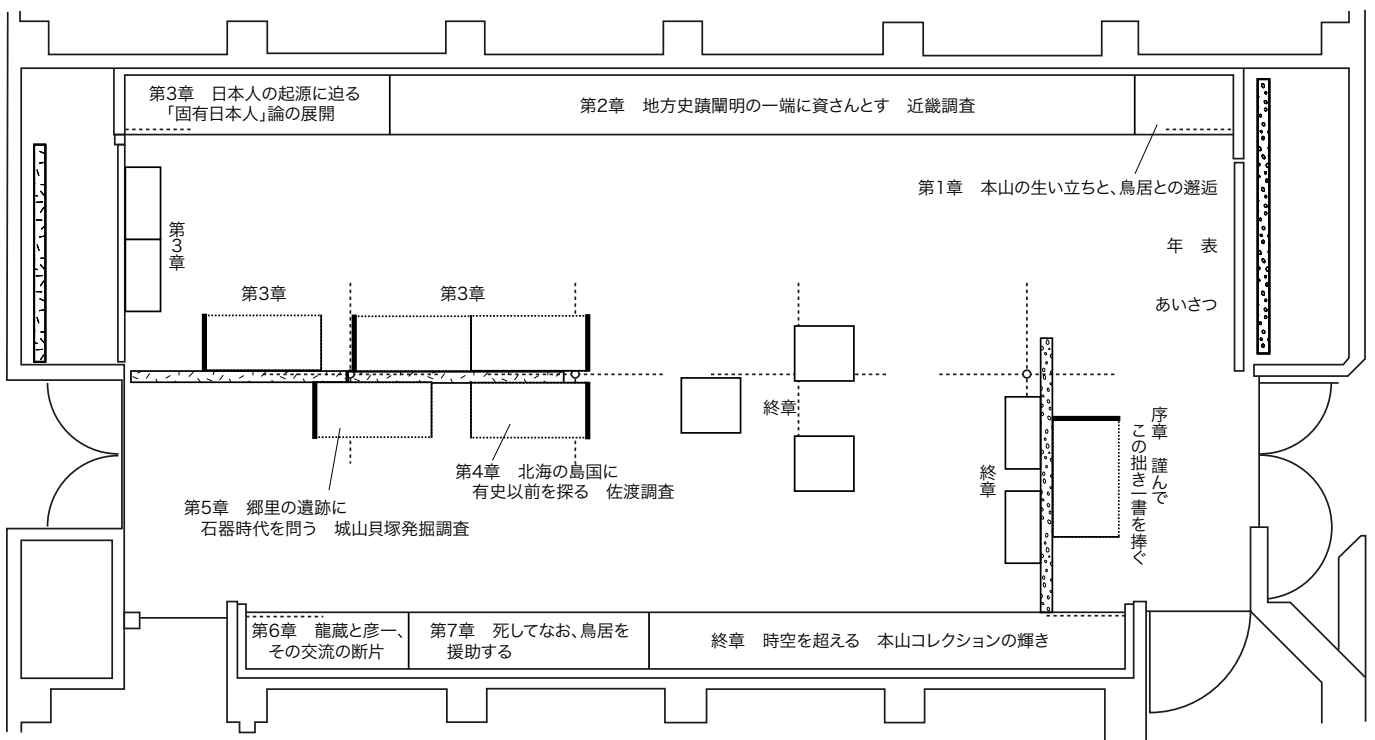
(1) 記念講演会 日本人はどこから来たのか?
講師：高部陽介氏(国立科学博物館)
日時：平成30年3月4日(日) 13:30~15:00
会場：文化の森イベントホール
備考：参加無料 事前申込不要

(2) 展示解説
日時：2月11日(日)、2月25日(日)、3月11日(日)、3月18日(日)
13:30~15:00
会場：博物館企画展示室(観覧料が不要)



チラシ(写真左:表 写真右:裏)

0 2m



展示配置

6 展覧事業



序章の展示



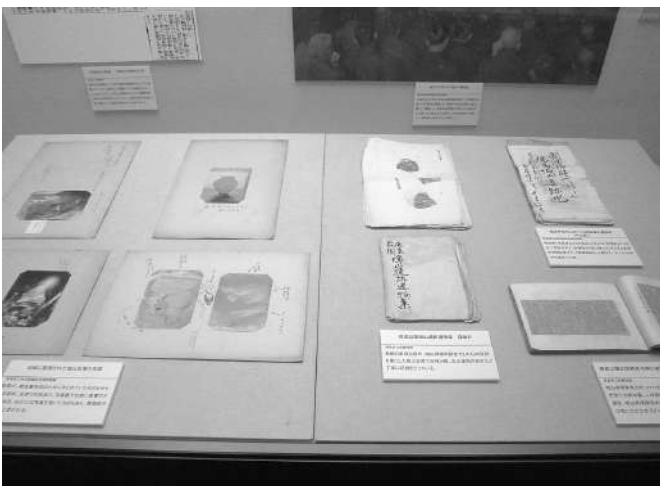
第7・終章の展示



第2章の展示



終章の展示



第5章の展示



展示解説

3. その他の展示

(1) 2017年度文化の森人権問題啓発展

文化の森6館と徳島県教育委員会人権教育課との共催で、人権問題啓発展（識字学級生の作品を中心とする展示）を行った。

主催 文化の森6館、徳島県教育委員会人権教育課

期間 平成29年12月6日（水）～12月12日（火）

会場 近代美術館ギャラリー（展示）

ミニシアター（ビデオ上映）

入場者数 227人

(2) 2階中央ロビーでの展示

常設展示室前の2階中央ロビーに設置されている展示ケースを使用して展示を行った。

●鳥居龍蔵の南アメリカ調査と乗り物

期間 平成28年度〔2月4日（土）〕～4月23日（日）

展示資料点数 17点（館蔵資料17点）

鳥居龍蔵が1937年の南アメリカ調査時に利用したり、調査対象とした乗り物を紹介した。



「鳥居龍蔵の南アメリカ調査と乗り物」の展示風景

4. 展示関係出版物

(1) 企画展図録

●企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る一本山彦一との交流」図録

2018年2月10日発行、A4判、48ページ、500部



図録「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る一本山彦一との交流」表紙

Ⅱ 調査研究事業

鳥居龍蔵記念博物館では、設置の趣旨にもとづき、鳥居龍蔵とその周辺に関する調査研究を進めることで、最新の情報を盛り込んだ展示や内容豊かな普及活動による鳥居龍蔵の顕彰を図るための基盤整備を進めている。とくに、館蔵資料に即した調査研究に重点を置いて取り組んでいる。

現在、専任の学芸スタッフ2名を中心に、兼務職員とともにこの業務に携わっている。

1. 平成29年度の調査概要

(1) 館外研究者との共同調査

館外の研究者とともに資料調査を行い、相互に研究の進展を図った。以下に、共同研究者とテーマを列記する。

- ①金 赫中氏（国立慶州博物館）、半月城に関する展示準備のため半月城発掘調査実測図を調査した。
- ②富井正憲氏（漢陽大学建築学部）、ソウル歴史博物館の委嘱で、日本におけるソウルに関する非文字資料を研究するため、鳥居龍蔵の残したソウル関係資料を調査した。
- ③尹 芝蓮氏（国立中央博物館）、君波妙子氏（東京国立博物館）、朝鮮総督府関連資料の収集のため、金海郡左部面北内洞合成学校付近ドルメン図ほかを調査した。

2. 研究成果の公表

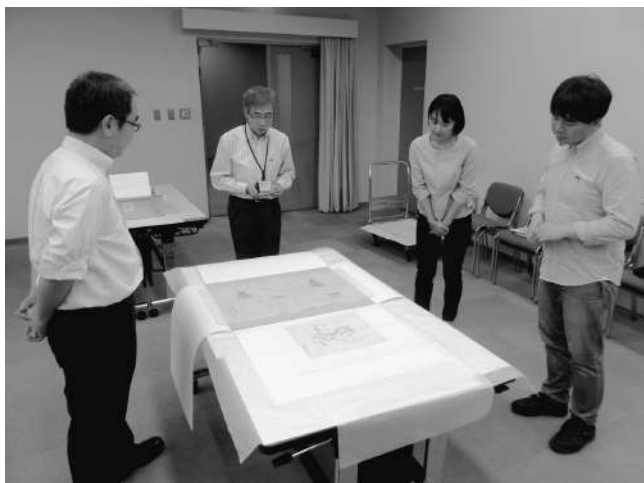
(1) 公表論文・報告・記事等一覧

〈学術的著述〉

湯浅利彦（2018.3）鳥居龍蔵の「有史以前論」における徳島市城山貝塚の位置. 鳥居龍蔵研究, (4) : 127 - 148.

〈一般著述〉

長谷川賢二・湯浅利彦・石井伸夫（2017.5）徳島県立鳥居龍蔵記念博物館における教育活動の試み—小さな博物館の大きな夢. 博物館研究, (587) : 20 - 24.



館外研究者との共同調査の様子（国立慶州博物館）

Ⅲ 資料収集保存事業

鳥居龍蔵記念博物館では、鳴門市にあった旧館（鳥居記念博物館）から引き継いだ資料の詳細な調査・整理やデータ登録、保存を資料収集保存事業の中心としている。平成29年度は、臨時補助員1名及び文化推進員1名の援助を得て作業を進めた。

また、鳥居龍蔵に関連する資料の新規購入にも努めた。29年度以降も引き続き、新規収集を心がけていきたい。

1. 館蔵資料数

考古資料・民族資料・書籍類・写真・拓本・自筆原稿・書簡等の総数は約70,000点である。調査・整理を継続しており、実数は未だつかめていないが、未開封だった資料の精査が進んできたため、総数は増加傾向にある。

また、29年度は、今後の企画展等の開催計画や情報収集、展示資料の充実を考慮して、一次資料や参考図書を計97点購入した。

2. 写真・映像等の提供

- | | |
|---------------------------|----|
| ①鳥居龍蔵肖像写真ほか | 2点 |
| 柏書房株式会社（出版物掲載） | |
| ②「鳥居龍蔵の恩智 茶ノ木遺跡発掘調査風景」の写真 | 1点 |
| 八尾市教育委員会（出版物掲載） | |
| ③鳥居龍蔵肖像写真ほか | 2点 |
| 株式会社新泉社（出版物掲載） | |
| ④徳島県立鳥居龍蔵記念博物館外観写真ほか | 2点 |
| 株式会社ダブルウィング（出版物掲載） | |
| ⑤鳥居龍蔵肖像写真ほか | 6点 |
| 鳴門市戦略企画課（パネル展示） | |

3. 資料閲覧

- | | |
|----------------|----|
| ①半月城発掘調査実測図 | 一括 |
| 国立慶州博物館（金 赫中氏） | |
| ②ソウル関係資料 | 一括 |
| 漢陽大学（富井正憲氏） | |

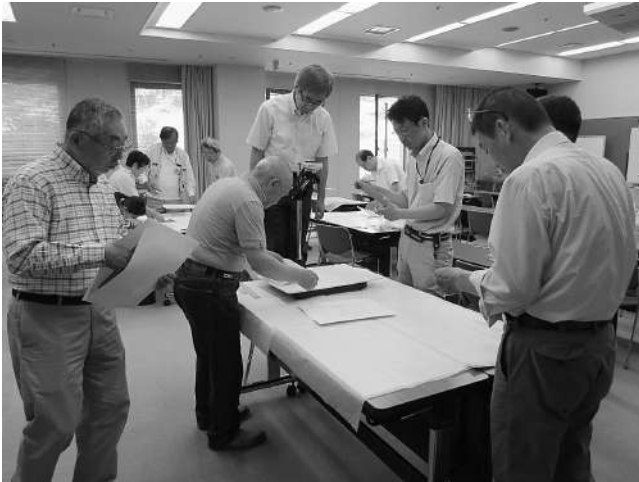
- | | |
|--------------------------|-----|
| ③ブラジルサンパウロ州関係資料 | 80点 |
| 米田誠士氏 | |
| ④南米調査関連の土器 | 1点 |
| 徳島文理高等学校（立石有礎氏） | |
| ⑤金海郡左部面北内洞合成学校付近ドルメン之図ほか | 4点 |
| 国立中央博物館（尹 芝蓮氏） | |
| 東京国立博物館（君波妙子氏） | |
| ⑥慶陵関係資料 | 一括 |
| ノースカロライナ大学（陸 驥氏） | |

4. 資料整理ボランティア

鳥居龍蔵記念博物館の収蔵資料及びデータベースの公開に向けて、平成25年度から歴文クラブ（シルバー大学校及び同大学院の歴史文化講座修了者の会）の会員4名からなるボランティアの協力を得て資料整理作業を進めている。

29年度も月2回程度のペースで活動を行い、必要に応じて有識者の助言を得ながらデータの蓄積を図った。29年度の活動実施日は次のとおりである。

- | | |
|------|-----------|
| 第1回 | 5月10日（水） |
| 第2回 | 5月30日（火） |
| 第3回 | 6月13日（火） |
| 第4回 | 6月27日（火） |
| 第5回 | 7月25日（火） |
| 第6回 | 9月8日（金） |
| 第7回 | 9月22日（金） |
| 第8回 | 10月11日（水） |
| 第9回 | 10月24日（火） |
| 第10回 | 11月10日（金） |
| 第11回 | 11月21日（火） |
| 第12回 | 12月12日（火） |
| 第13回 | 1月12日（金） |
| 第14回 | 3月13日（火） |



ボランティア活動の様子

5. 資料の保存

(1) 収蔵庫における環境管理

収蔵庫への出入りなどにもなって、害虫やカビなど資料の保存に悪影響を与える物が侵入することがある。そのため、定期的に収蔵庫の燻蒸を行うのが望ましい。29年度は燻蒸を行わなかったが、今後もカビや害虫の発生状況を注視し、必要に応じて燻蒸等の対策を講じる予定である。

(2) 常設展示室における環境管理

常設展示室は、収蔵庫のような密閉可能な空間ではないため、害虫の侵入を防ぐことができず、また、展示室全体の燻蒸が不可能である。そこで、害虫への対策として、防虫剤及びトラップの設置による文化財害虫のモニタリングを行っている。29年度も防虫剤及びトラップの設置を行った。

IV 普及教育事業

鳥居龍蔵記念博物館における普及教育事業は、鳥居龍蔵の顕彰を推進するための県民に対する情報発信の意味をもち、重要である。また、調査研究や資料収集保存の成果を示すという意味でも、展示とともに意義深い事業といえる。

1. 普及行事

平成29年度は、鳥居龍蔵セミナーや野外見学などを行った。また、文化の森合同イベントに参加して体験コーナーを開設するなど、普及啓発に努めた。

- ①「こどもの日フェスティバル」(ぬり絵とすごろくで楽しもう!) 5月5日(金・祝) 909人
- ②鳥居龍蔵セミナー「あるブラジル移民の見た鳥居龍蔵の調査」 6月18日(日) 14人
- ③鳥居龍蔵セミナー「鳥居龍蔵、世界の巨石構造物を探る」 7月17日(月・祝) 32人
- ④夏休み自由研究スペシャル「みんなで発見!! 鳥居龍蔵を知ろう!!」 8月6日(日) 9人
- ⑤「文化の森 サマーフェスティバル」(民族衣装にチャレンジ!!) 8月20日(日) 632人
- ⑥鳥居龍蔵セミナー「鳥居龍蔵のベストセラー「有史以前の日本」—日本人成立論をめぐって—」 9月18日(月・祝) 28人
- ⑦「文化の森 大秋祭り!!」(絵あわせパズルとぬり絵で楽しもう) 11月3日(金・祝) 602人
- ⑧鳥居龍蔵セミナー「鳥居龍蔵、南方を探る—日本

- 人の起源を求めて—」11月11日(土) 21人
- ⑨企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—一本山彦—との交流—」展示解説 2月11日(日) 32人
- ⑩「文化の森ウインターフェスティバル」(民族衣装とぬり絵で楽しもう) 2月11日(日) 536人
- ⑪企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—一本山彦—との交流—」展示解説 2月25日(日) 22人
- ⑫企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—一本山彦—との交流—」記念講演会 3月4日(日) 160人
- ⑬企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—一本山彦—との交流—」展示解説 3月4日(日) 41人
- ⑭企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—一本山彦—との交流—」展示解説 3月11日(日) 12人
- ⑮企画展「鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—一本山彦—との交流—」展示解説 3月18日(日) 18人
- ⑯「鳥居龍蔵ゆかりの地を歩こう(城山貝塚編)」 3月21日(水・祝) 3人
- ⑰クイズラリー 徳島県立博物館が実施しているクイズラリー(対象高校生以下)に、当館も参画した平成29年度は、延べ2,460人の参加があった。



夏休み自由研究スペシャルの様子



鳥居セミナーの様子

2. 学校教育の支援

(1) 出前授業

学校からの依頼に応じ、講師として学芸員を派遣している。29年度は行わなかった。

(2) 「教員のための博物館の日」への参加

7月26日（水）、徳島県立博物館で開催された「教員のための博物館の日in徳島 授業に役立つ！博物館活用入門」において、当館の展示案内のコースや、学校教育支援についてのブースを設け、授業への講師派遣（出前授業）について周知を図った。

(3) 「海外ビジネスマーケティング事業」における事前研修会の受け入れ

30年度に台湾で実施される海外ビジネスマーケティング事業に参加する高校生8人に対し、近現代における台湾と徳島及び鳥居龍蔵との関わりを理解してもらうため、講義と展示案内を行った。

2月3日（土） 午前10時～11時30分

城西高等学校2年生 4人

つるぎ高等学校1・2年生 4人



海外ビジネスマーケティング事業事前研修会の様子

3. 講師の派遣

外部機関・団体等からの講師派遣依頼について、業務に支障のない範囲で、普及教育事業の一環として対応している。

4月27日（火） 下田順一

徳島県シルバー大学校美馬校で講演「鳥居龍蔵とその時代について」（美馬市脇町庁舎）

7月21日（火） 石井伸夫

徳島県シルバー大学校徳島校で講演「鳥居龍蔵と

その時代について」（徳島県立総合福祉センター）

9月13日（水） 下田順一

徳島県シルバー大学校阿南校で講演「鳥居龍蔵とその時代について」（阿南ひまわり会館）

10月7日（土） 湯浅利彦

四国大学オープンカレッジ「奈良を旅する」で講演「有史以前の大和国—鳥居龍蔵の「固有日本人」説をめぐって—」（四国大学古川キャンパス）

11月7日（火） 石井伸夫

徳島県シルバー大学校小松島校で講演「鳥居龍蔵とその時代について」（小松島市総合福祉センター）

11月8日（水） 下田順一

徳島県シルバー大学校東みよし校で講演「鳥居龍蔵とその時代について」（東みよし町東部福祉センター）

12月18日（月） 石井伸夫

徳島県シルバー大学校牟岐校で講演「鳥居龍蔵とその時代について」（牟岐町海の総合文化センター）

2月5日（月） 下田順一

徳島県シルバー大学校上板校で講演「鳥居龍蔵とその時代について」（上板町老人福祉センター）

4. インターネットによる情報発信

鳥居龍蔵記念博物館のホームページを開設し、事業の紹介や学習教材の提供などを行っている。内容は次のとおりである。なお、28年度にひきつづいて「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の紹介を掲載した。

- ・展示・行事等の案内
- ・アクセス案内
- ・学校教育での利用（遠足）の案内
- ・常設展示の紹介
- ・鳥居龍蔵の生涯（年表）
- ・よみもの「阿波の偉人再発見！ 鳥居龍蔵」
- ・鳴門市にあった旧館（徳島県立鳥居記念博物館）の紹介
- ・台湾向けパンフレットのダウンロードコーナー
- ・出版物PDFファイルダウンロードコーナー
- ・鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム紹介コーナー

5. 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化 フォーラムの開催

鳥居龍蔵は、徳島が生んだ世界的な学者である。彼は、人類学、民族学、考古学など多様な手法を駆使し、当時世界最先端の業績をあげたが、その礎は、地元の歴史や文化についてフィールドワークをもとに研究し、その成果を世に問いかけた少年時代の活動にあったといっても過言ではない。このような鳥居龍蔵の取り組みを記念し、徳島の中学生・高校生による歴史文化に関する自主的な研究活動を後押しすることにより、人材の育成を図ることを目的に、28年度から実施しており、29年度で2回目となった。

なお、この事業は26・27年度に行った博学連携推進モデル事業（年報5・6号参照）の成果を踏まえて行うこととしたものである。

●主催

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館

●後援

徳島県博物館協議会

●募集内容及び条件

地域の歴史・文化について自主研究活動を行ってもらい、研究成果をまとめたレポートを募集した。テーマは、①特定の地域の歴史・文化に関すること（必ずしも県内に限定しない）、②鳥居龍蔵に関することのいずれかとした。

また、研究及びレポート作成の条件として、①フィールドワーク（現地での見学や聞き取り、写真撮影等の調査）を行い、その結果をもとに考察すること、②テーマに関連する博物館や資料館を利用すること、③調査内容や結果からの考察を、文章、図表、地図、写真等を用いて表現することとした。

●募集期間

7月15日（土）～10月31日（火）（レポートの提出をもって応募とする）

●対象（応募資格）

県内在住の中学校・高等学校及び特別支援学校（中学部、高等部）の生徒（私立中学校・高等学校の生徒及び高等専門学校3年生までの学生を含む）

※個人・グループなど、どのような形態でも参加可能

●募集結果

中学生の部5件、高校生の部7件の応募があり、すべてフォーラムでの口頭発表の対象とした。

●研究発表

①日程 2月18日（日）10：00～17：00

中学生の部 10：00～12：00

高校生の部 13：30～17：00

②会場 文化の森イベントホール

③参加者 146人

●審査・表彰

①審査委員

天羽 利夫氏（鳥居龍蔵を語る会代表）

町田 哲氏（鳴門教育大学准教授）

野々村拓也氏（徳島県中学校教育研究会社会部会長・鳴門教育大学附属中学校長）

松山 隆博氏（徳島県高等学校教育研究会地歴学会会長・徳島県立城南高等学校長）

湯浅 利彦（当館館長・県立博物館長）

②審査結果

審査の結果、次のような評価が決定され、全応募作品を表彰した。

〈中学生の部〉

【地域研究部門】

優秀賞「私のおばあちゃんの歴史」

鳴門教育大学附属中学校 猪子明花

奨励賞「日本最古の「朱」採掘場所 徳島」

徳島市徳島中学校 田村美咲

「阿波藩蜂須賀家参勤交代の歴史について」

徳島県立城ノ内中学校 畠中陸光

「津田に残る狸の影響」

徳島市津田中学校

郡 由奈、福岡春菜、西 葵衣、

船越聖令

「邪馬壹国（ヤマトコク）のはじまりは阿波からか?!～諸説ある中の私的一考察～」

鳴門教育大学附属中学校 佐藤理紗子

〈高校生の部〉

【鳥居龍蔵研究部門】

奨励賞「鳥居龍蔵が収集した南米土器を探る

—3Dプリンターでの活用事例—

徳島文理高等学校 郷土研究部

井上悠揮、神原聡太、中山響一

「鳥居龍蔵と日本人論—人類学と科学について—」

徳島市立高等学校 歴史研究部

川上菜月、井村華子、笠井瑠夏、

益田明英

【地域研究部門】

優秀賞「段ノ塚穴型石室における結晶片岩の使用に関する考察」

徳島県立脇町高等学校 井上翔太郎

「日和佐八幡神社秋祭と「海の道」」

徳島市立高等学校 歴史研究部
生駒 杏、笠井瑠夏、村田晴輝、
山下華乃、桐原龍哉

「八幡神社で行われていた神事～競馬について～」

徳島県立城南高等学校
神谷亜未、高曽根杏香

奨励賞 「蜂須賀家墓所の特徴」

徳島文理高等学校 郷土研究部
江川美結、根岸宏圭

「産業社会と人間」で取り組む地域学
～大麻比古神社について～」

徳島県立鳴門渦潮高等学校
河野佑季、萩原明日菜、松本二千翔、
前田涼華

●関連行事

- ①ガイダンスツアー 7月15日(日)
ガイダンス講座受講希望者を対象とし、現地を巡って基礎的な調査を体験してもらい、自主研究のスキル向上を目指した。



発表の様子



表彰式の様子

行先 徳島市立考古資料館、気延山（矢野の古墳、宮谷古墳）、阿波国分寺庭園、願勝寺、郡里廃寺跡、段の塚穴

参加者 31人

②バスツアー「世界遺産と国宝・重要文化財の旅」

11月25日(土)

レポート提出者を対象とし、奈良市内の寺社等を歩いて見学した。

行先 入江泰吉記念奈良写真美術館、新薬師寺、大乘院庭園、元興寺（極楽坊等）、奈良町、興福寺、東大寺（南大門、戒壇院等）

参加者 15人

6. 普及教育関係出版物

- 平成28年度 鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム報告書
平成29年4月30日発行、A4判20ページ、1,000部

平成28年度 鳥居龍蔵記念
徳島歴史文化フォーラム報告書

歴史のドアを開けよう！
徳島から世界への挑戦！

平成29年
2月19日(日) 10:00～17:00

中学生の部 10:00～12:00
記念講演 13:00～14:00
「鳥居龍蔵博士の足跡と業績に学ぶ」
天羽利夫氏（鳥居龍蔵を語る会代表）
高校生の部 14:00～17:00

主催 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館
後援 徳島県博物館協議会

フォーラム報告書

V 管理運営

1. 組織・職員

(1) 組織図（平成30年4月1日現在）

館長 [1] — 副館長 [1] — 学芸課 4 [4]
 (事務職員 [1])
 学芸員 2 [3]、
 文化推進員 2)
 [] は兼務者数 (外数)

(2) 職員名簿（平成30年4月1日現在）

館長 遠藤 佳孝 (県立博物館長本務)
 副館長 長谷川賢二 (県立博物館副館長本務)
 学芸課長 大橋 俊雄 (県立博物館人文課長本務)
 課長補佐 石井 伸夫
 係長 坂部 公章 (県立博物館係長本務)
 学芸係長 下田 順一
 主任 松永 友和 (県立博物館主任本務)
 主任学芸員 岡本 治代 (県立博物館主任学芸員本務)
 文化推進員 松浦まり子
 文化推進員 宮田正友美

(3) 人事異動

(平成30年3月31日付)

定年退職：湯浅利彦・館長

(平成30年4月1日付、転入者のカッコ内は前職)

転出：笹田 純司・副館長、図書館副館長へ

転入：遠藤 佳孝・館長 (保健福祉部付・徳島県歯
科医師会事務局長)

(4) 平成29年度臨時・非常勤職員

●臨時補助員

行本 尚晃 (平成29. 4. 1 ~ 30. 3. 31)

●文化推進員

竹内 里奈 (平成27. 4. 16 ~ 30. 3. 31)

2. 防災及び危機管理

(1) 危機管理体制

文化の森3館棟で消防防災計画を立て、二十一世紀館、博物館、近代美術館、当館と文化の森の警備、設

備、食堂等の業者で自衛消防隊を組織し、訓練を行って非常時に備えている。

(2) 防火防災訓練

1月26日(金)の「文化財防火デー」に際し、文化の森と徳島市消防局が連携して文化財消防訓練を行った。地元消防団等も参加して、文化財収蔵施設における火災発生時の初期消火や避難誘導等について確認し、防火管理体制の強化を図った。

3. 鳥居龍蔵記念博物館協議会

鳥居龍蔵記念博物館協議会は、運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関で、博物館法及び徳島県文化の森総合公園文化施設条例の規定にもとづき設置されている。委員は、県立博物館協議会委員による兼務である。

平成29年度は、県立博物館協議会を兼ねて1回開催した。

●29年度鳥居龍蔵記念博物館協議会

日時：平成29年9月29日(金)

午後1時30分～4時

会場：徳島県立博物館 講座室

平成29年度鳥居龍蔵記念博物館協議会委員

区分	氏名	役職等
学校教育	堀川 富美	県小学校教育研究会理科部会理事 (北井上小学校長)
	野々村拓也	県中学校教育研究会社会部会長 (鳴門教育大学附属中学校長)
	平山 義朗	県高等学校教育研究会地歴学会副会長 (鳴門渦潮高等学校教頭)
社会教育	○松下 師一	松茂町総務課長 元松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館長補佐
	安倍 久恵	フリーアナウンサー・前絆実行委員会委員
	松田 春菜	四国大学講師・四国貝類研究会
学識経験	◎玉有 繁	元徳島文理大学教授
	玉田 香織	藍住町国際交流協会理事
	高崎扶美子	徳島新聞社デジタル編集部記者
家庭教育	川原 絵美	八万中学校PTA本部役員

◎は会長、○は副会長

議事

- (1)平成28年度事業の実施状況について
- (2)平成29年度事業計画について
- (3)その他

4. 視察等来訪者

- 8月26日 静宜大学日本語文学系副教授
邱 若山氏ほか 一行
- 8月27日 首都大学東京教授 山田昌久氏
- 9月1日 盛岡大学文学部教授 熊谷常正氏
- 10月26日 東京都港区教育委員会事務局
高山 優氏
- 11月19日 真理大学台湾文学資料館名誉館長
張 良澤氏ほか

VI 観覧者統計

●平成29年度 常設展観覧者数

月	開催日数	有料観覧者							無料観覧者															観覧者総数										
		個人			団体(割引20%)				学校					教 育					個人						無料観覧者計									
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	有料観覧者計	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	計	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他															
4月	26	33	8	1	15	2	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	114	12	12	24	101	195	458	517
5月	26	57	5	0	24	3	0	89	0	0	3	260	0	0	1	225	4	485	439	22	8	25	212	1,076	2,267	2,356								
6月	26	43	10	0	23	0	0	76	0	0	0	0	0	0	1	27	1	27	160	17	22	25	115	148	514	590								
7月	26	19	2	0	17	0	0	38	0	0	0	5	0	0	4	0	9	329	34	41	14	184	694	1,305	1,343									
8月	28	—	—	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,013	106	39	17	318	2,561	4,054	4,054									
9月	26	24	7	0	19	7	0	57	1	9	0	0	1	59	0	0	2	68	170	10	5	8	93	311	665	722								
10月	26	35	5	0	20	4	0	64	1	21	1	62	0	0	0	0	2	83	136	20	10	18	100	188	555	619								
11月	26	18	4	0	4	2	0	28	0	0	0	0	0	0	1	8	1	8	323	25	12	17	199	1,020	1,604	1,632								
12月	24	25	6	0	11	2	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0	101	3	9	8	47	164	332	376									
1月	23	29	8	0	16	0	0	53	1	120	1	16	0	0	0	0	2	136	104	4	10	11	169	151	585	638								
2月	24	29	8	0	25	0	0	62	2	14	0	0	0	0	0	0	2	14	160	9	14	23	86	529	835	897								
3月	27	26	7	0	17	1	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94	5	6	48	73	166	392	443									
計	308	338	70	1	191	21	0	621	5	164	5	343	1	59	3	264	14	830	3,143	267	188	238	1,697	7,203	13,566	14,187								

(※) 7月21日(金)～8月31日(木)は「家族でお出かけ・節電キャンペーン」により無料

●常設展観覧者数累計

年度	開催日数	有料観覧者										無料観覧者															観覧者総数				
		個人			団体(割引20%)				減免(割引50%)			学校					教 育					個人						無料観覧者計			
		一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	高齢者	障がい者	計	高校・大学生	小・中学生	有料観覧者計	幼稚園・保育園	小学校	中学校	高校	計	小学生	中学生	高校生	障がい者	高齢者	その他							
22	121	909	33	6	66	0	0	790	49	839	0	0	1,853	9	540	15	851	2	12	1	15	27	1,418	1,259	60	37	—	—	3,432	6,206	8,059
23	309	895	77	13	71	44	0	556	84	640	0	0	1,740	1	90	32	2,179	7	641	3	332	43	3,242	2,950	270	214	—	—	8,510	15,184	16,924
24	308	621	106	4	65	0	0	120	22	142	0	0	938	2	182	33	2,450	2	9	2	341	39	2,982	3,089	225	135	129	829	7,256	14,645	15,583
25	307	506	176	4	48	48	0	—	—	—	—	—	782	10	538	36	2,197	1	3	1	142	48	2,880	2,886	294	158	203	1,071	6,382	13,874	14,656
26	307	436	150	9	110	18	0	—	—	—	—	—	723	8	381	32	1,755	5	97	3	335	48	2,568	2,770	200	76	320	1,575	6,080	13,589	14,312
27	308	409	105	1	266	50	5	—	—	—	—	—	836	3	250	14	644	0	0	1	37	18	931	3,334	323	168	398	2,111	7,964	15,229	16,065
28	307	389	83	1	202	13	2	—	—	—	—	—	690	4	180	7	120	2	81	1	25	14	406	4,310	325	198	415	1,897	9,698	17,249	17,939
29	308	338	70	1	191	21	0	—	—	—	—	—	621	5	164	5	343	1	59	3	264	14	830	3,143	267	188	238	1,697	7,203	13,566	14,187
計	2,275	4,503	800	39	1,019	194	7	1,466	155	1,621	0	0	8,183	42	2,325	174	10,539	20	902	15	1,491	251	15,257	23,741	1,964	1,174	1,703	9,180	56,525	109,542	117,725

(※) 平成24年9月より、高齢者(65歳以上)及び障がい者は無料。

●企画展観覧者数

企画展名	開催期間	開催日数	有料観覧者							無料観覧者					観覧者総数	
			個人			団体(割引20%)				減免(割引50%)		個人				無料観覧者計
			一般	高校・大学生	小・中学生	一般	高校・大学生	小・中学生	高齢者	障がい者	有料観覧者計	高校・大学生	小・中学生	その他		
鳥居龍蔵の見た台湾	平成24. 1. 28～3. 11	38	549	21	1	14	1	0	559	34	1,179	20	1,037	363	1,420	2,599
鳥居龍蔵の国内調査—沖縄・南九州—	平成26. 1. 25～3. 2	32	270	22	0	11	0	0	139	—	442	9	595	707	1,311	1,753
よみがえる縄文世界—鳥居龍蔵の信州調査—	平成27. 1. 24～3. 1	32	377	40	7	78	0	0	285	—	787	39	805	1,196	2,040	2,827
鳥居龍蔵—世界に広がる知の遺産—	平成28. 1. 23～2. 28	32	179	19	0	94	2	0	266	—	560	61	309	901	1,271	1,831
遙かなるマチュピチュ—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—	平成29. 1. 28～3. 5	32	536	29	2	194	4	1	592	—	1,358	30	494	1,023	1,547	2,905
鳥居龍蔵—日本人の起源に迫る—一本山彦—との交流—	平成30. 2. 10～3. 18	32	144	10	0	49	0	0	167	—	370	25	283	1,068	1,376	1,746
合 計		198	2,055	141	10	440	7	1	2,008	34	4,696	184	3,523	5,258	8,965	13,661

(※) 平成24年9月より、障がい者は無料。

●特別陳列観覧者数累計

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の見た北東アジア	平成23. 10. 29～12. 4	32	4,534
鳥居龍蔵とアイヌ	平成25. 1. 26～3. 3	32	5,465
合 計		64	9,999

18 観覧者統計

●人権啓発展観覧者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
2010年度人権問題啓発展	平成22. 11. 30～12. 5	6	670
2011年度人権問題啓発展	平成23. 12. 6～12. 11	6	383
2012年度人権問題啓発展	平成24. 12. 4～12. 9	6	356
2013年度人権問題啓発展	平成25. 12. 4～12. 10	6	341
2014年度人権問題啓発展	平成26. 12. 10～12. 16	6	315
2015年度人権問題啓発展	平成27. 12. 10～12. 16	6	270
2016年度人権問題啓発展	平成28. 12. 9～12. 15	6	244
2017年度人権問題啓発展	平成29. 12. 6～12. 12	6	227
合 計		48	2,806

●啓発展を除く共催事業観覧者・参加者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵が見た「祭り」「踊り」	平成23. 7. 20～8. 28	36	4,038
合 計		36	4,038

(※) 観覧者数は開催期間中の常設展来館者数合計。

●館内各種展示観覧者数

展示会名	開催期間	開催日数	観覧者総数
鳥居龍蔵の南アメリカ調査と乗り物	平成29. 2. 4～4. 23	68	11,031
合 計		68	11,031

●利用者総数年度別一覧

年度	常 設 展		常設展 観覧者 合 計	企画展 観覧者	特別陳列 観 覧 者	移動展等	普及行事 参 加 者	その他	利用者総数
	有 料 観覧者	無 料 観覧者							
22年度	1,853	6,206	8,059	—	—	—	236	670	8,965
23年度	1,740	15,184	16,924	2,599	4,534	—	412	4,421	28,890
24年度	938	14,645	15,583	—	5,465	—	1,968	356	23,372
25年度	782	13,874	14,656	1,753	—	—	3,387	370	20,166
26年度	722	13,589	14,311	2,827	—	—	4,167	336	21,641
27年度	836	15,229	16,065	1,831	—	—	2,898	527	21,321
28年度	690	17,249	17,939	2,905	—	8,439	4,521	844	34,648
29年度	621	13,566	14,187	1,746	—	2,592	3,282	430	22,237
累 計	8,182	109,542	117,724	13,661	9,999	11,031	20,871	7,954	181,240

(※) 特別陳列は自主事業のみの観覧者数。その他は、人権啓発展と共催事業を合わせた観覧者数

VIII 例 規

●徳島県文化の森総合公園文化施設条例〔抜粋〕

制 定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号
 最近改正 平成30年3月20日 徳島県条例第32号

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設（以下「文化施設」という。）を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名 称	業 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。)	1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 2 鳥居記念館に関する調査研究を行うこと。 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(徳島県立図書館、徳島県立博物館、徳島県立近代美術館、徳島県立文書館、徳島県立二十一世紀館の業務は省略)

(利用の許可)

第3条 (省略)

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

2 (省略)

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全額又は一部を免除することができる。

4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法（昭和25年法律第118号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 教育委員会の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協 議 会 の 名 称	所 掌 事 務
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

(他館の各協議会の所掌事務は省略)

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 (省略)

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(教育委員会規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表第1 (第4条関係)

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団体 (20人以上をいう。以下同じ)	個 人	団 体
小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者	1人1回	50円	40円	知事はその都度定める額	
高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者	1人1回	100円	80円		
その他の者 (学齢に達しない者を除く。)	1人1回	200円	160円		

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館管理規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

最近改正 平成24年11月7日 徳島県教育委員会規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。) の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 鳥居記念館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1)月曜日 ただし、その日が国民の祝日に関する法律 (昭和23年法律第178号) に規定する休日 (以下「休日」という。) に当たるときは、その後においてその日に最も近い休日でない日

(2)12月29日から翌年の1月4日までの日

2 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館長 (以下「館長」という。) は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 博物館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 館長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する供用時間を変更することができる。

(遵守事項)

第4条 鳥居記念館を利用する者は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例 (平成2年徳島県条例第11号) 及びこの規則並びに館長が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(1)泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者

(2)前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第6条 学術その他の目的のために鳥居記念館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、館長の承認

を受けなければならない。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、鳥居記念館の管理に関し必要な事項は、館長が定める。

●徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第5号

最近改正 平成24年3月30日 徳島県教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例（平成2年徳島県条例第11号）第7条第7項の規定に基づき、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

●徳島県教育委員会行政組織規則〔抜粋〕

制 定 昭和45年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

最近改正 平成30年3月30日 徳島県教育委員会規則第1号

第1章 総 則（省略）

第2章 事務局（省略）

第3章 教育機関〔鳥居龍蔵記念博物館に該当する条項のみの抜粋〕

第4節 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

(名称及び位置)

第27条 文化施設条例により設置された徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（以下「鳥居記念館」という。）の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

名 称	位 置
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館	徳島市八万町向寺山

(内部組織)

第28条 鳥居記念館に学芸課を置く。

(業務)

第29条 鳥居記念館の業務は、次の各号に掲げるとおりとする。

1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。

2 鳥居記念館資料に関する調査研究を行うこと。

3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。

4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

第6節 職及び職務

(所長等の職務)

第32条 総合教育センター及び埋文総合センターの所長、文書館及び二十一世紀館の館長は、上司の命を受け当該

教育機関の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

(副所長等)

第33条 上司の命令を受け、教育機関の長を補佐させるため、次の表の上欄に掲げる職を同表の相当下欄に掲げる教育機関に置く。

職	教育機関
副館長	図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居記念館

2 教育機関の長に事故があるとき、又は教育機関の長が欠けたときは、教育委員会が指定する職員が、その職務を代行する。ただし、やむを得ない事由により教育委員会が教育機関の長の職務を代行する職員を指定することができないときは、当該機関に属する副所長、次長又は副館長（二人以上置かれているときは、当該教育機関の長が指定する次長又は副館長）が、その職務を代行する。

(主幹等)

第34条 前条に規定する職のほか、教育機関に、次の表の上欄に掲げる職のうち必要な職を置き、その職務は、それぞれ同表の相当下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
課長	上司の命を受け、課の事務を処理する。
課長補佐	上司の命を受け、特に高度の知識又は経験を必要とする事務、技術又は専門的事務に従事する。
上席学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の重要施策又は重要事業の推進に関する専門的事務に従事する。
主査	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする事務又は技術に従事する。
専門学芸員	上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
係長	上司の命を受け、当該教育機関の事務に関し命ぜられた事項又は係の事務を処理する。
学芸係長	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に関し命ぜられた事項を処理する。
主任	上司の命を受け、相当の知識又は経験を必要とする事務又は技術若しくは専門的事務に従事する。
主任主事	上司の命を受け、相当の経験を必要とする事務に従事する。
主任学芸員	上司の命を受け、相当の経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。
主事	上司の命を受け、事務又は技術に従事する。
学芸員	上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。

(司書、技師その他鳥居記念館に置いていない職は省略)

第4章 附属機関

(附属機関)

第37条 附属機関の名称、庶務を担当する課等又は教育機関は、次の表に掲げるとおりとする。

名称	庶務を担当する課等又は教育機関
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会	鳥居記念館

(事務局の各審議会、他館の協議会等は省略)

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 第8号 (平成29年度)

平成30年(2018)7月31日 発行

編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

(文化の森総合公園内)

Tel. 088-668-2544 Fax. 088-668-7197

Eメール torii_museum@mt.tokushima-ec.ed.jp

ホームページ <http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/>

印 刷：原田印刷出版株式会社
